

2008年9月29日

白色LED及びフラットパネルディスプレイ用材料事業の強化

化成オプトニクス株式会社の統合

白色LED用蛍光体の生産設備増強

三菱化学株式会社

三菱化学株式会社（本社：東京都港区、社長：小林 喜光）は、白色LED及びフラットパネルディスプレイ（FPD）の主要材料として拡大する蛍光体事業の一層の強化を図るため、2009年4月1日付で、子会社である化成オプトニクス株式会社（本社：神奈川県小田原市、社長：石田 幹敏、以下「化成オプト」）を吸収合併することといたしました。

また、併せて高輝度白色LED用の赤色及び緑色蛍光体の製造設備を下記のとおり増強いたします。

LEDは、その省電力性からCO₂削減の有効な手段として注目されており、特に照明や液晶ディスプレイバックライト用途において白色LEDの需要が伸びており、今後、高輝度白色LEDの需要も急速に伸びることが期待されております。

三菱ケミカルホールディングスグループの主要事業会社である当社は、グループの中期経営計画「A P T S I S 10」で定めた7大育成事業の一つと位置づけている固体照明事業について、高輝度白色LEDのキーマテリアルである蛍光体、GaN（窒化ガリウム）基板及び封止材の開発・事業化に取り組んでまいりました。その結果、蛍光体においては、より自然光に近い白色光を実現する高輝度LED用蛍光体の量産化に成功し、2006年より生産販売を開始しております。

一方、化成オプトは、1979年より蛍光体及び放射線関連事業に取り組み、その技術力及びマーケティング力を生かし、拡大するFPD用蛍光体事業を軸に蛍光体市場のトップグループメーカーとして、業容を拡大してまいりました。

今般、化成オプトを当社に統合し、蛍光体事業の一体運営によるシナジー効果を生み出すことにより、白色LED用やFPD用を含めた蛍光体事業の強化を図ってまいります。また、白色LED用の蛍光体を増産することで、白色LED用蛍光体事業の更なる拡大を図ってまいります。

記

- | | |
|--------|---------------------------|
| 1 設置場所 | 化成オプトニクス社 小田原工場内（現時点） |
| 2 生産能力 | 従来比3倍 |
| 3 工事期間 | 着工：2008年9月 完成：2009年9月（予定） |

以上